

京都市
次世代の
と自學
自文指校
ら化す教
のを子育
未受どの
来けも重
を継像点
創ぎ、
造する子
ども」

令和7年度 山ノ内小学校 学校教育グランドデザイン

学校教育目標

すすんで、ともに学ぶことを楽しむ子ども
～主体性と社会性を高める～

めざす子ども像（くすのき）

○クリエイティブ(つくり出す) ○すすんで ○のびのびと ○きまりを大切に

目指す資質・能力

- ①すすんで学ぶこと ②互いにちがいを認め合うこと ③正解のない問い合わせに向き合うこと

めざす教職員像

すべての児童、教職員にとってウェルビーイングな学校を作る

- 多様性を理解する教職員 ○教育を創造する教職員
○児童の学びに寄り添う教職員 ○児童の手本となる教職員

本年度の山ノ内小学校の目指す学校像

- 子どもが行きたくなる学校 ○保護者が通わせたくなる学校
○地域から応援される学校 ○教職員が働きたくなる学校

多様性を認める 授業のユニバーサルデザイン化

- ・多様性を理解する学校体制
- ・多様な児童の学びを保障する授業のUD化
- ・支援の必要な児童に対する確かな手立て
- ・持続可能な学校教育の創造
- ・UD化の視点でGIGA端末を活用した授業
- ・カリキュラムマネジメントの視点での授業改善
- ・ICTを活用した校務の効率化

ICT機器の活用

生徒指導の実践上の4つの視点を意識した取組

- ・自己存在感、自己肯定感、有用感を育む配慮
- ・多様性を認め合う共感的な人間関係の育成
- ・自分の意見や考えを自由に発表できる機会、自己決定の場の提供
- ・安全、安心して学校生活を送れる風土の醸成

主体的な学び、体力向上の取組

- ・主体的、対話的で深い学びにつなげる少人数でのグループ学習
- ・学習内容を自ら計画する自己調整力の育成
- ・体力向上の取組の工夫
- ・読書の習慣化